

公立東濃中部医療センター 令和8年2月開院!

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、この度、「土岐市立総合病院」と「東濃厚生病院」が統合し、2月に「公立東濃中部医療センター」として開院を迎えます。

広々とした敷地と落ち着いたデザインの新病院は、400床の病床を有し、最新の医療機器や診断装置を導入、救急医療・急性期治療・回復期リハビリテーションを切れ目なく提供し、患者さまの早期回復と在宅復帰を支援します。

病棟は、急性期296床・回復期44床・地域包括ケア40床・緩和ケア病棟20床の400床となります。

導入予定の主な最新鋭の医療機器は、

- 手術支援ロボット「ダヴィンチ」
- ハイパーサーミア(温熱療法) 装置
- PET-CT
- 放射線治療機器「バリアン」
- リハビリ支援ロボット「ウェルウォーク」

これらの設備により、がん診療、低侵襲手術、精密診断、回復期リハビリと幅広く対応可能です。屋上にはヘリポートを備え、重症患者の広域搬送にも対応できる高度な救急体制を整えてあります。

また、予防医療として引きつづき人間ドック・がん検診・巡回健診を行い、地域の皆様の健康管理のお手伝いをします。

更に、新病院では産科を開設。土岐・瑞浪で出産ができるようになります。これに先駆け、12月から土岐市立総合病院で月・水・金の午後から妊婦健診を開始しました。

私たちは、地域に根ざした総合病院として患者さま一人ひとりに寄り添い、安心と信頼の医療提供に努めてまいります。

開院に向けた最新情報や診療科紹介、採用情報などは、随時ホームページで発信してまいります。

 JA岐阜厚生連



公立東濃中部医療センター
Tono Chubu Medical Center

所在地：土岐市肥田町浅野1078番200

